

筑波北部公園再整備 ワークショップニュースレター

# 普段の公園利用に関するアンケートとヒアリング No.01

ワークショップ1

普段の公園利用に関するアンケートとヒアリング  
(オンライン&紙配布)

ワークショップ2

筑波北部公園のステキを集めよう!  
-公園内ワーク-

ワークショップ3

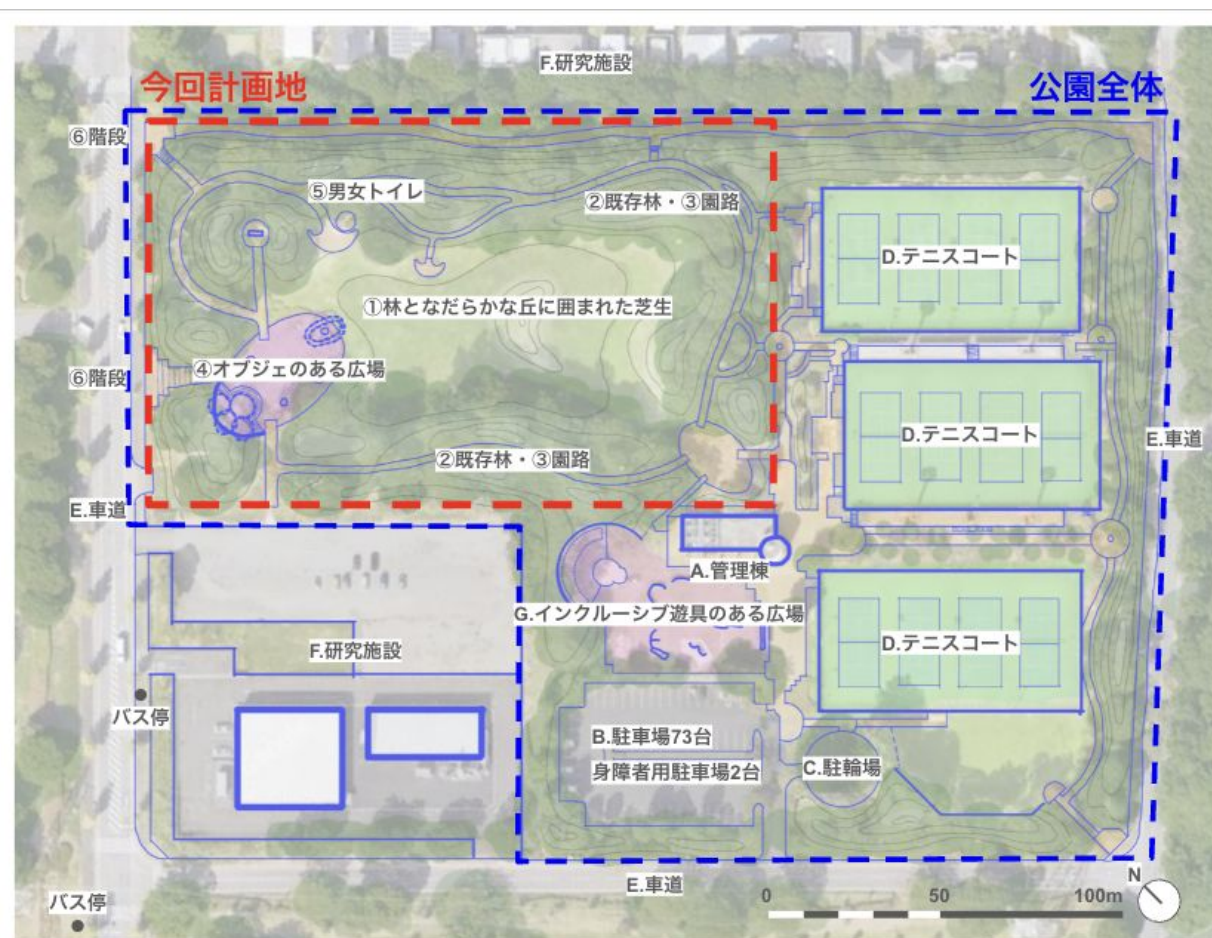
インクルーシブな遊びを考えよう (前編)  
-グループワーク-

ワークショップ4

インクルーシブな遊びを考えよう (後編)  
-グループワーク-

## 【はじめに】

つくば市では障害の有無にかかわらず誰もが快適に過ごせる「インクルーシブ公園」の整備を進めています。整備予定地である筑波北部公園は、芝生広場やインクルーシブ遊具を備えた広場、12面のテニスコートなどを擁し、憩いからスポーツまで幅広い利用に対応する、約4.2haの地区公園です。整備計画エリアは、芝生広場周辺を含む約1.0haを対象としています。



## 【主なアンケート結果】

公園で過ごす際に、設備などのハード面で利用しにくいと感じるところはありますか。

(複数回答) / TOP 3

- 1位: トイレや休憩スペースが使いにくい/見つからない (40%)
- 2位: 車いすやベビーカーでの利用が難しい場所が多い (24%)
- 3位: 遊具や設備がわかりづらい/使いづらい (18%)

ハード面の課題については、「トイレや休憩スペースが使いにくい」をはじめ、施設を利用する際に障壁となる部分をあげている意見が多く上がりました。また、心理面の課題として、「周囲に迷惑をかけないか心配」、「周囲の意見が気になる」といった意見が多く上がりました。

公園で過ごす際に、心理面で利用しにくいと感じるところはありますか。

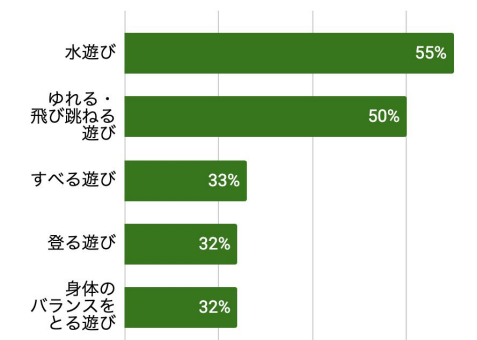
(複数回答) / TOP 3

- 1位: 周囲に迷惑をかけないか心配 (65%)
- 2位: 周囲の人の視線や対応が気になる (34%)
- 3位: どの公園が安心して使えるのかわからない (25%)

公園で快適に過ごすためには、設備面の整備だけでなく、心理面でのハードルの解消も必要。

「楽しめると思う遊びや過ごし方」については、障害の特性によって傾向の差はみられるものの、「水遊び」や「ゆるる・飛び跳ねる」「すべる」といった要素が上位に上がりました。また、「手触りや足の感覚を楽しむ遊び」「自然と触れ合う」をはじめとした上位に上がっているもの以外の要素についても一定の回答をいただいていることから、多様な遊びの視点を持って設計を進めていく必要があることがわかりました。

公園にあると楽しめると思う遊びや過ごし方を教えてください (3つまで選択) / TOP 5



「楽しめると思う遊びや過ごし方」は、多様な遊びの視点が必要。

## 公園利用における見えない課題を抽出するためのアンケート調査

インクルーシブ公園整備にあたり、公園利用者が抱えている課題や意見を把握するため、令和7年9月上旬から中旬にかけてアンケート調査を実施し、障害のある当事者、御家族及びその支援者の計107名から御意見をいただきました。アンケートは「設備などのハード面」「心理面」それぞれのハードルについて聞くのと併せて、公園での過ごし方・遊び方についても確認しました。

## アンケート調査から見えてきた課題

アンケート調査の結果から、設備の整備のようなハード的対策に加え、心理面での課題をはじめとしたソフト的の要素に対してもアプローチしていく必要性が浮き彫りになりました。また、「遊び」や「体験」については、多くの要素に一定の票が入ったことを踏まえ、多様な遊びの視点を持って設計を進めていく必要があることがわかりました。上記の結果を踏まえ、今後、具体的な検討を進めてまいります。